

大阪暁明館 だより

2014.7
summer

大阪暁明館病院 基本理念

大阪暁明館病院は、キリスト教精神に基づく全人的医療を通して、地域住民が心の絆を実感できる病院を目指します。

職員行動指針

我々は、

1. 最良の設備、環境を整え、安全で質の高い医療を提供します。
2. 愛情と尊敬をもって接し、何が最良かを一緒に考え、温かい医療を実践します。
3. 地域の医療、介護を行う方々と連携し、地域の皆様の健康と生活を守ります。
4. 医療を通じて自己研鑽し、健全な病院運営を行い、社会貢献を果たします。

看護配置基準が「7対1」になりました

当院は、平成26年5月より「7対1看護体制」の施設基準を取得いたしました。

より手厚い看護が可能に



看護部長
友清 尚子

一般病棟の入院基本料は、厚生労働省が定める診療報酬の中で、入院患者と看護職員の比率によって定められています。「7対1」や「10対1」「13対1」などの区分があり、「7対1看護」というのは、一般病棟に入院

されている患者さま7人に対して1人の看護職員を配置するというものです。当院はこれまで、「10対1」の看護基準でしたが、「7対1」になったことにより、看護職員1人当たりの受け持ち患者数が少なくなり、ゆとりのある手厚い看護が可能になるなど、一層安全で安心な医療を提供できるようになりました。

さらなる定着率の向上を

「7対1看護体制」は患者さまにとってだけでなく、看護師にとっても働きやすい職場につな



がります。全国的に看護師不足が深刻化しているなか、職場環境の改善や教育体制の強化が離職防止になり、看護師の定着率も向上していきます。

当院看護部は、「7対1看護基準」の取得を機に、これからも安全で質の高い看護を提供できるように努めて参ります。



夜、しっかり寝られていますか？

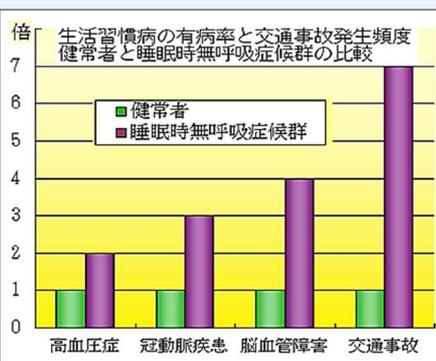
～ 睡眠時無呼吸症候群の最新情報 ～

臨床工学科 科長 枚本 保

睡眠時無呼吸症候群とは

最近、新聞やテレビなどの健康欄や健康番組で「睡眠時無呼吸症候群」という言葉をよく見聞きするようになりましたが、いったい何のことでしょう。

「睡眠時無呼吸症候群」とは、夜寝ている間に息が何度も止まってしまう症状のことです。本人は夜中に何回も息が止まり、その都度息をするために脳が目覚めていることなどほとんど自覚していません。ただ、目覚めてもなんとなくすっきりせず、頭重感、倦怠感、のどの渇きなどを訴えます。最も特徴的な兆候はイビキです。大きなイビキが急に詰まったような感じで途切れたり、しばらくしてからあえぐような呼吸が突然始まったりします。当然無意識のうちに、息苦しさにより脳は目覚めているわけですから寝不足になり、昼間の眠気が強くなったり、集中力が低下したりします。居眠り運転や作業能率の低下、会議中の居眠りなど社会生活に悪影響を及ぼします。



こうした兆候を見逃したり、放置したりしてしまうと慢性疲労症候群をはじめ高血圧、糖尿病などいろいろな生活習慣病を誘発し

ます。さらに症状が重くなると息が詰まることで体は酸素欠乏のため急激な血圧、心拍数の上昇を繰り返します。それは心臓に大きな負担となって不整脈を起し、その結果、狭心症や心筋梗塞、脳卒中など大変危険な病気の原因となることが知られています。

これまでの統計から日本人の成人で4～5%(20～25人に1人)の人がこの症状を持っていると推測されています。あなたや、あなたの周りの方でイビキが大きい方、眠っても疲れが取れない方、昼間の眠気が強い方はいませんか？

睡眠時無呼吸症候群の検査

「睡眠時無呼吸症候群」がご心配の患者さまにはまず、ご自宅で行える簡易検査(スクリーニング検査)を受けていただきます。外来受診していただき簡便な検査装置を貸し出しいたします。ご自宅に持ち帰られて夜眠るときに測定していただきます。結果は検査装置返却時にすぐに聞くことができます。

この簡易検査の結果、「睡眠時無呼吸症候群」の疑いがある方には、確定診断のための「睡眠ポリソムノグラフィー」精密検査を専門の睡眠検査センターで一晩泊って受けていただきます。夜の検査ですから日中の生活はそのまま、夕刻5時～夜7時頃に病院に来ていただければ結構です。結果は翌朝8時～9時前後には聞くことができます。また治療が必要な方はその日から治療説明を受けて開始することができます。



「睡眠時無呼吸

症候群」の検査、治療には痛みや苦痛を伴うものではありません。安心してお受け下さい。

睡眠時無呼吸症候群の代表的な治療

睡眠ポリソムノグラフィー精密検査で「睡眠時無呼吸症候群」中等症以上と確定診断を受けられた方は「鼻マスク陽圧呼吸療法(CPAP：シーパップ)」の保険適応となります。この治療は最も一般的な治療として世界中で行われています。日本でも既に10万人以上の方が受けておられ、快適な睡眠と健康を取り戻されています。

良い眠りは健康維持に欠かせません。思い当たる方は当院「睡眠呼吸療法センター」までお気軽にご相談ください。(※「睡眠時無呼吸症候群」の検査および治療には医療保険が適応されます)

昼のひととき「七夕コンサート」開催!

7月5日(土)、「院内七夕コンサート」を1階の「インマヌエルホール」で開催しました。

この日は、当院行事広報委員会のハンドベル演奏「たなばたさま」に続き、職員有志がクラリネットやトランペット、ベース、フルートなどで「星に願いを」など3曲を演奏。最後に、此花少年少女合唱団とフィオリ ムジカーリの皆さんが、「きみにあえてうれしい」「雨のちハレルヤ」「手のひらを太陽に」などを歌われました。かわいい子供たちの合唱に、患者さまたちも楽しそうな笑顔で、盛んに拍手を送られていました。



此花少年少女合唱団とフィオリムジカーリの皆さん



ハンドベル演奏



職員有志によるアンサンブル演奏

イースター礼拝を開催しました

イースターをお祝いする「イースター讃美礼拝」を4月23日(水)に行いました。ゴスペルディレクター・シンガー・ピアニストとして関西を中心に全国各地で活躍中の山本真一郎氏を讃美ゲストにお迎えし、ピアノの弾き語りで素敵な歌声を聴かせて頂きました。会場のインマヌエルホールには、患者さまや地域の方々、職員等たくさんの方が詰めかけ、皆でイースターをお祝いしました。



お近くの「かかりつけ医」ご紹介



やまさきクリニック

内科(消化器)・
肛門外科・皮膚科



院長 山崎 満夫
「スタッフ一同、患者様のことを第一に考え、適切かつ心地よい医療サービスに取り組んで参ります」

- レントゲン
- 胃カメラ・エコー
- 各種健康診断
- 訪問診療
- 各種予防接種

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9時～12時30分	●	●	●	●	●	●
16時30分～19時	●	●	●	/	●	/

※ 木曜午後、土曜午後、日曜・祝日休診

〒554-0014 大阪市此花区四貫島 1-9-10

電話&FAX 06-6462-1212 <http://www.yamasaki-cl.jp>



阪神なんば線「千鳥橋駅」から徒歩約3分



在宅サービス事業所情報交換会

5月17日（土）、当院で「在宅サービス提供事業所情報交換会」を開催しました。これは、此花区の居宅介護支援事業所（ケアマネジャー事業所）と近隣の訪問看護事業所が集まり、居宅介護に関する情報を共有しようというもので、22名の方々が集まりました。最初に坂院長が当院の歴史や概要について紹介。その後、リハビリ科と看護部が各1題ずつ講演しました。最後に、グループ毎に情報交換会を実施。終了後、参加者からは「とても有意義な会だった」との感想を頂きました。



無料健康相談実施

5月6日（火）、高見連合振興町会主催の「ワイワイフェスタ」が行われ、当院も無料健康相談を実施、たくさんの方々に足を運んで頂きました。屋内に設けられたブースでは、看護師が血圧測定を行ったほか、スタッフがパンフレットを配布し病院をPRしました。

途中、転倒して負傷したお子さんを、当院の看護師が手当するというハプニングもあり、親御さんに大変喜んで頂きました。



好天に恵まれ、150名以上の方々に越し頂きました。

生活習慣病教室スタート!

平成26年度の「生活習慣病教室」がスタートしました。5月21日（水）に行われた第1回目は、臨床工学科・枚本科長による「睡眠時無呼吸症候群の最新情報」。患者さま、ご家族、地域の皆さまなどたくさんの方々にお越し頂きました。ありがとうございました。なお、「生活習慣病教室」の今後のスケジュールは下記の通りです。皆さまふるってご参加下さい。



日程	担当	テーマ
7月16日(水)	理学療法士 栗栖 和樹	あなたの膝は大丈夫? ～自宅でするストレッチと筋トレ～
9月17日(水)	副院長 牧野 晋也	睡眠と生活習慣病
10月15日(水)	眼科部長 石田 理	生活習慣病と眼の病気
11月19日(水)	薬剤師 小倉 輝正	糖尿病の知識とお薬について
平成27年 1月21日(水)	臨床検査技師 吉岡 紀葉	その胸痛、気になりませんか? ～意外と身近な心筋梗塞～
2月18日(水)	管理栄養士 向井 良介	知ることから始めてみよう ～健康的な食生活を目指して～

■時間:午後2時～3時(9月は午後3時～4時) ■場所:当院11階会議室

「看護の日」にカードをプレゼント!

5月12日は「看護の日」。看護の心、助け合いの心を誰もが育むきっかけになるようにと、ナイチンゲールの誕生日にちなんで制定されました。当院では「看護の日」を記念して、外来・入院患者さまなど450名の皆様に記念のカードをお配りしました。入院患者さまには一人ひとりに職員からのメッセージを添え、とても喜んで頂きました。



大阪暁明館だより

平成26年7月10日発行



社会福祉法人 大阪暁明館
大阪暁明館病院

〒554-0012 大阪市此花区西九条 5-4-8

電話(06)6462-0261(代表)

FAX(06)6462-0362

<http://www.gyoumeikan.or.jp>